



機夫 喜家

ひたひたの雨
 足音の響く
 老翁の杖をふる
 つるつるたるたる
 とわらわらとて
 金もあはれ
 びんぎとて
 うりたて
 一くち
 ああこれ
 のうた
 戦て
 さうり
 あはれ
 手
 つす

あつたを
 なる



矢田部 黒

あり
 うう
 あり
 ええ
 あはれ
 トん
 なる

あはれ
 なる

の
 天下
 なる



藤原衛

あつた大いふちのちの
の十野きり二さの
ときその夢のあれ
あをふてふあひひ
さくあをふてふあひひ
といふくうあひひ
さふさふあひひ
とてふあひひ
ふあひひ
あひひ
そのあひひ
さくあひひ
くうあひひ

あまの
ときの人をんきよう
あひひ
ざりしと
あひひ



波自來女

あまの
ときの人をんきよう
あひひ
ざりしと
あひひ

あまの
ときの人をんきよう
あひひ
ざりしと
あひひ



紀夏井

おのれは下うなるの
 男はちきりきり
 ひきせん男の
 正徳のまはなまの
 右中納言あふさう
 ちん無きまはなれ父
 ぬれとまひひえ
 たふさふさふさ
 のふさふさふさ
 川をさこのちあふ
 壁をくさるあふ
 ちんあふあふふれな
 つるさふさふさを
 かりし目のこくく云
 とせまおびぬさの
 うくはふさ
 おれあり
 けり

小野篁

天のつらふ年父
 おれれおれ年
 けんさうしおめい
 らの初のおごりを
 いそぐつらふさ
 ひさふさふさ
 うらうらふさ
 ちんあふさ
 ちんあふさ
 ますくおつらふ
 正徳のまはなまの
 うさふさふさ
 されさふさ
 おふさのうさふさ
 世ふさ
 我ふさ
 あふさ



難波 部良 賣

旅衣の人をいといけなきうり
 きるめそ天母ふううおんあり
 その母をく世をうりなれへ
 ちうくちうくそをひきあけ
 葉をまらそつとといけなき
 正しくとてふちやて感の
 ぢうく世像のあそみあるの
 つまこあるおちやていねお
 あそみあそみあそみあそみ
 さまぐいひうる人あれども
 二丈ふきそえそ天母の
 希きこいめをて
 くらわ二徳をぬり
 まるきものを
 さそなきひ
 なる



隨身公助

東まんどろ大政大臣
 のやううのやうの
 まあううのやうの
 うけを将をへ
 たりとそそまき
 所まんぶふうを
 ちうくちうく
 ひきうもつと
 かりのあんど
 けあひりとなつ
 ちうくちうく
 ちうくちうく
 てあまのつと
 たれあとし
 あの人とあひ
 まんせうしと
 いひなる
 まだれうう
 ああもの



伴直家主

無慮の事ありて
 のうまんありて
 なみなく又相
 のちちちちち
 をききききき
 一やややや
 をつてつてつて
 あややや
 ちちちちち
 れをつつつ
 目あつちちち
 ちのちのち
 つひひひ
 ききききき
 あややや
 ちちち
 ちちち



張敬之

聞早孝其親

因口奉
とてけり

詩曰

詩曰 關武石質良柯曾照晚
夜寧前留母在三子免
風霜

士口字



ひより父をのちりあふ
 父とてのみ山へゆきし
 ちかまわあひきつたふ
 ともくつたふ人なほ
 正をわたりてこゝろを
 りんとしつたはと
 づからそふ天の
 ぬりふふと
 あふちをたすけ
 をうしてり
 あひなる
 そふんと
 ながれ
 の
 あく
 ひと
 なる
 を

三

深山邊

2

8

白額努力搏
理風父子俱
無恙脫離纜

黃香

又うきやう

何の念をさうに思ふ母をれ
 ちふううふふとあはれを
 つぐりきれたるのきなり
 あのをかり申さうとて
 上をまゐりてあはれめ
 又たのぬくまをわき
 とさふかすまの
 つれづれのさうさ
 しむとてふを
 りてあはれめ
 けりてあはれめ
 大母のふくむて
 たてくられぬをわき
 ゐてふをれよりしてこ
 まうきやうをわき
 ありてふ

詩 冬月温衾暖夏天扇枕涼
兒童知子職千古一黃香



蔡 噴

[illegible]

詩曰
黑棋奉旨圍帝

飢淚滿衣赤眉知
孝順牛米贈君婦



庚黔婁

[illegible]

詩到懸

日
死^し北^く望^{ぼう}起^き二^に憂^{ゆう}心^{しん}
逢^あ疾^{じき}深^{ふか}願^{がん}持^も身^み代^{しろ}



This is a black and white woodblock print illustration, likely from a Japanese book. It depicts two men in traditional attire standing outdoors. The man on the left is wearing a kimono with a diamond-shaped pattern and has a long, thin object, possibly a pipe or a stick, protruding from his mouth. He is looking towards the other man. The man on the right is wearing a kimono with a swirling pattern and is looking back at the first man. They appear to be in conversation. In the background, there are stylized trees and a building with a thatched roof. On the far left, there is vertical Japanese text. At the bottom, there are some small, illegible markings.

参商五十年
喜氣動皇天

詩 日
孝悌皆天性 人間
六歲兒 袖中懷綠
橘 送母報舍館



あんなに高のたぬおめを
すんとなげやどろろとあ

[illegible]

芭蕉堂公雄

藤澤原診館

あつゝお金のためめちを
すゑとあひるやどあらうとあ

人々をわびてとものさへあつた故に身も
 りどふふなりかりと藤のちをりてゆふ
 ありお母のやとまをうゑんとあひひたふの草
 をまてあまこむむかりとるあの人
 りりやうやう人ごをまをすとのあ
 ととあふふたてわんにけりそまをれ
 これをこのあふあふあんとあふの
 あふぐ程のどもまはくあひあふり
 てあふのうとあふにといひたれ藤人
 そのあふをふあふりのまをうゑまを
 あふくの志しあふまふまをのれ
 うりりあふを藤のちをまてわれ
 だててあふあふあふれともあひ人
 たるあふりあふあふれあふれ

詩
光親思鹿乳身掛
褐毛衣若不高声
語山中帶箭歸



芭蕉堂公雄

藤澤原診館

16517
30

